

CONTENTS

- 第9回G・M賞 受賞者決まる(2面)
- 滝井高バレー、フェンシングが 全国大会へ(5面)
- 国際大卒業生が就職奮戦記(6面)

# GLOBAL MIND

グローバルマインド

発行/(学)大阪国際学園広報室  
〒570守口市藤田町6-21-57  
06(902)0787(代) FAX06(902)8961

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 大阪国際女子大学(OIUW) 大阪国際女子短期大学(OICW)  
大阪国際滝井高等学校(OITH) 大阪国際大和田高等学校(OIOH)  
大阪国際大和田中学校(OIOJ) 大阪国際大和田幼稚園(OIOK)

編集手帳

▽古美術の真贋論 争は、古今東西枚 挙にいとまがなく、 また絶えることも ない。近年では佐伯 祐三作品をめぐってかしまし かったのが、記憶に新しい。いっ 真贋論争が真に気がかりなのは、 美術館関係者やコレクターだろ うが▽社寺境内などでのガラク タ市が盛ん。外国人が目立つよ うになって久しいが、若い女性も ふえて、「掘り出し物」を漁る 姿はほほえましい。ただし、せい ぜい実用の絵画などに限り、時 代のある茶碗や壺となれば真贋 を見極めねばならず、これがむ ずかしい▽ホンモノ、ニセモノの鑑 定に必要なのは「複眼の視点」と 「柔軟な観察」▽古陶磁学者・ 出川直樹)だという。情報過多 社会に生きるわれわれにとっても、 切に求められる姿勢だろう。

## 大阪国際大(OIU)がガンと都心に近づいた



大阪国際大の南口、JR長尾駅。待合の東西線開通で通学足もと 都心からの利便が向上した。

### 輸送サービスの向上で 通学・通勤が便利に

### JR東西線の開通(3・8)で 宝塚・神戸線と学研都市線がつながる

JR東西線が3月8日、開通した。平成元年3月の着工以来、実に8年を費やして大阪都心に貫通。これによってJR宝塚線・神戸線と学研都市線が直結したほか、地下鉄各線や私鉄との連絡も緊密になった。学研都市線長尾駅が玄関口の大阪国際大学(OIU)にとって、東西線開通は開学(着工前年の昭和63年)以来の待望の実現。同時に電車増発などのダイヤ改正で、大阪都心部からみて郊外に位置する同大学は都心にグンと近づいたほか、宝塚線や神戸線と通学・通勤の利便も飛躍的に向上した。

東西線は、学研都市線京橋駅と宝塚線・神戸線の尼崎駅間(12.3キロ)を大半地下で結び、すべて地下の▽大阪城北詰▽大阪天満宮▽北新地▽新福島▽海老江▽御幣島▽加島の各駅が新設された。

京橋-尼崎駅間を16分で結ぶとともに学研都市線と宝塚線・神戸線を都心部で相互直通運転。さらに東西線によって、谷町線や堺筋線、御堂筋線など多くの市営地下鉄、また阪神本線など私鉄との乗り換えもできるようになった。さらに、大幅ダイヤ改正で学研都市線も輸送力が向上した。

## 未来を見つめ、旅立ちの季節

### 総勢2486名が巣立つ

大阪国際学園

未来を見つめ、旅立ちの季節 3月。大阪国際学園の各学校で2、3月に卒業式が次々に開催された。別れの寂しさの中にも新たな希望に胸をふくらませて、学生・生徒・園児のあわせて2486名が巣立っていった。

国際大の卒業証書・学位記授与式は3月25日、大講義室で学部別に行われた。大学院経営情報学研究科経営情報学専攻15名、経営情報学部2

## 女子大 今春から国際大へ

### 国際大コミュニケーション・スポーツ行動学専攻

大阪国際女子大学が平成9年4月からの開設を目指して設置認可を申請していた▽国際コミュニケーション学科(入学定員20名)▽スポーツ行動学科(同20名)に対し、12月19日付で正式認可を得た。

これによって女子大は、既設の▽コミュニケーション学科(入学定員80名)と▽人間健康科学科(同80名)との4学科になり、人間科学部はコミュニケーション学科とスポーツ・健康科学の体系が整備・充実されることになった。一方、短

大の英語科は募集停止し▽家政科▽幼児教育科▽国際文化学科に縮小する。

小規模だった女子大の改革は長年の課題だったが果たせず、今回の改革で収容定員数では短大を上回り、女子大主体の女子大

短大が実現、本学が提唱する「女性の優位性」を強調した教育が可能になったほか、学内全般の活性化に結びつくものと期待される。

翌3月18日は、短大の卒業証書授与式。家政科266名、養士コース39、生活文化コース

## スライドで学園生活振り返る

### (女子大・短大)

ついで後輩達と記念写真を撮ったり、学生生活を共にした友人たちや恩師との思い出話をしたりといった光景があらわに、こちらでくり広げられた。また、2月1日には留学生別科生修了式が行われ、4名に単位認定証が授与された。

一方、女子大では3月17日、奥田メモリアルホールで卒業証書・学位記授与式が行われた。コミュニケーション学科99名、人間健康科学科48名の計147名が、入すつ壇上に上がり、証書学位記を受け取り、それぞれ新たなスタートを切った。

また、3月15日には大和田幼稚園で保育修了式が行われ、52名の園児たちが成長を祝福され巣立っていった。

情報文化コース168名が卒業。女子大・短大の式では学園生活のスライドを上映。一生懸命取り組んだ卒業研究や、思い出に残るイベントなどさまざまな場面を振り返った。

中学・高校では「足早く卒業証書授与式が行われ、滝井高校では2月25日に340名が、大和田中学・高校では2月28日にそれぞれ35名・285名が、それぞれの思い出を胸に卒業した。

府南部に住む木津方面からの通学生には普通電車も増発されてうれしい。デパートの快速・普通も増発され、都心と本学のキヨリが近くなったのはたしか。

本学学生約2,500人のうち、長尾駅利用者約1,500人。東西線開通で直接恩恵を受ける学生は多い。兵庫伊丹市から通うラクロス部所属の吉田幸平さん(経情3年次生)もその一人。宝塚線伊丹駅から大阪環状線、そして学研都市線に乗り継いで通学していたが、東西線開通による一本化でさくそく利用。「宝塚線、学研都市線とも本数が増えたほか、乗り換えがなくなると待ち時間のイライラもなくなりました。実際の通学時間短縮以上に気分的には楽になった」と上機嫌。大学にとっても、開学時から東西線早期実現や学研都市線の輸送力増強を要望してきただけに、大歓迎。

その一方で、新たな課題も深刻化しそう。長尾駅と大学間は徒歩約15分。駅を出た通学生らは府道交野・久御山線から信号を

左折し、すぐの踏切を渡って大学へ。ところが踏切遮断機の閉鎖時間が従来からもなく滞りがひどかった。そこで昨年、改めて地域の自治会等とともに渋滞解消策や駅反対側の改札口設置、駅前広場新設等を地元枚方市やJR西日本に要望した。ダイヤ改正によって踏切周辺での混雑に拍車がかかっており、関係機関への改善要望は一層強まりそう。そのなかで、枚方市が平成9年度予算で駅前整備の調査費を計上したのは朗報。

# 第9回グローバルマインド賞 決まる

## グランプリ賞に川岸弘実さん(福井高)

### NGOの体験 「マッチ売りの少女達へ」

第9回を迎えた「グローバルマインド賞」(大阪国際学園・毎日新聞社共催)は先の学報(第13号)で報じたように958編の応募作品があり、前回の376編を2倍強も上回る数字となった。

3度の学内審査を経た10編の作品が12月11日、梅棹忠夫氏(国立民族学博物館顧問)、大島靖氏(大阪国際交流センター会長)、岡本道雄氏(国際高等研究所理事長)、森毅氏(京都大学名誉教授)の先生方による最終審査会が行われた。

まず審査委員の目をひいたのは、川岸弘実さんの「マッチ売りの少女達へ」。川岸さんはNGO(非政府機関)のひとつ「シャプラーニ」の研修旅行先のパングラデシュで、恵みを求めて手を出さず供たちに囲まれた時

を受けた感情を基に、本当の国際交流のあり方を考察。「その手に簡単にお金を乗せてあげたとして、彼らは本当に幸せになれたのだろうか」と安易な施しに疑問を抱いたことや、別のNGOが主催したハンガリーパンケツ

ト(飢餓の宴)で体験した発展途上国の食生活の体験を重ね合わせ「援助として必要な事は、最終的に援助される国が他国から援助が不要になり、経済的に『離陸』すること。技術協力と、その国の将来を担って行くであろう人材を育成するもの」と説いた。

次いで神山織江さんの「タイからの贈り物」では、タイ北部

#### 【グランプリ】

川岸 弘実(福井県立藤島高等学校1年)

「マッチ売りの少女達へ」

#### 【準グランプリ】

神山 織江(栃木県立宇都宮女子高等学校2年)

「タイからの贈り物」

#### 【毎日新聞社賞】

有馬さや香(福岡県立門司高等学校2年)

「笑顔を通じて」

#### 【佳作】

富田 真弓(京都私立立命館高等学校3年)

「集団主義の日本人」

藤原 彩(神奈川県立横浜学院女子高等学校2年)

「肌の色って何なのだろう」

橋本 雅江(大阪私立大阪国際大和田高等学校3年)

「私の夢」

田中 幸恵(静岡私立浜松海の星高等学校2年)

「世界人になりたい」

中間華奈子(鹿児島私立川内純心女子高等学校3年)

「心と心の交流を大切に」

平沼依里子(愛知私立津島女子高等学校3年)

「コスモポリタンとして生きる」

長谷川景子(福井県立藤島高等学校2年)

「国境」

【学校賞】

神奈川私立横浜学院女子高等学校

で見た焼き畑を切り口に、先進国特有であろうと思っていた環境破壊が、実は開発途上国の方が深刻であり、その原因となっているのが、現在の私たちの快適な生活である事にショックを受けた。

### ハーバークレジット(海外賞)

#### 100余年の歴史誇り各界に著名人

高等部の正規カリキュラムには、英・仏語、歴史、地理、数学、理科、体育の他にスペイン語、ドイツ語、ラテン語、物理、化学、生物、政治、経済、演劇、コンピュータなどが選択科目として用意され、また課外活動として、スポーツ系、文化系、芸術系、オーケストラ、出版部等、豊富な受け皿が用意されています。平均20人前後の少人数クラス、伝統的なハイ・レベルの授業により、カナダ国内(トロント大学へは、奨学金付きで毎年10数人の生徒が進学)のみならずアメリカ、イギリスの有名大学へ多数の生徒を進学させています。また、同校からは医師、弁護士、実業家、芸術家など著名人が多数輩出しています。中等部は、カナダ国内における数学コンテストにおいて過去10年間、上位を占め続けています。

本校からは提携以来4年間に延べ11名の生徒が、ハーバークレジットから同様に延べ10名が互いの学校へ6週間短期留学して相互理解と親善を深めています。が、訪加した生徒からは、自由で伸び伸びとした校風、充実した教育設備、授業中の生徒の活発な学習態度、家庭学習の長さなど真剣さについて全員が感銘を受けたと述べています。また、同校生徒宅で家族の一員としてお世話になったホストファミリーの暖かい心配りと歓迎に対して、大変感謝していました。



自由で伸び伸びした校風、充実した教育設備が整う名門ハーバークレジット

幼稚園から小学部、中・高等学部までの一貫教育が原則で、

が評価された神山さんに準グランプリ賞が、有馬さんには毎日新聞社賞がそれぞれ選ばれた。その他7作品に関しては、上位3作品とはほとんど遜色なく、審査委員の間で意見も分かれたが、紙一重の差で佳作にとどまった。また、学校賞には応募数が77編、佳作入賞1名、第3次審査通過1名の神奈川県立横浜学院女子高等学校が満場一致で選ばれた。

この結果を基に12月21日に毎日新聞全国版の紙面にて受賞者発表、さらに29日には上位3作品の全文と要旨を同紙上で紹介し、1月中旬より受賞者への入選

の伝達および表彰のため、各高等学校への訪問が相次いだ。グランプリを受賞した川岸さんの母校福井県立藤島高等学校では、吉野教頭らの立ち会いで表彰状・楯・副賞を手渡した。川岸さんは「将来は国際弁護士を目指したい。青年海外協力隊に参加して、発展途上国の自立の手助けをしたい」と新たな目標に目を輝かせていた。

川岸さんの受賞作品「マッチ売りの少女達へ」を含む入選10作品は、応募者一覽とともに小冊子にまとめ、参加賞と共に3月上旬応募者・応募高等学校に送付された。

## 留学生レポート

### オーストラリアで過ごして

大阪国際大和田高校3年 諏訪 沙織

私が行ったオーストラリアのジーロン・グラマースクールは、留学生の受け入れが多く、そのせいか大和田高校からの短期留学生が増えるぐらいたったことはないような感じでした。日本の学校がするような歓迎パーティーや、私達だけの特別なスケジュールもありませんでした。

3人も別々の寮に入り、学校のきまりも寮のきまりも分からないまま、オーストラリアでの生活がはじまりました。次の日から早速、ホストチューデントのクラスに入って授業をうけました。と言っても、授業どころか英語も理解できず、分からない事だらけですぐホームシックにかかりました。でも、だんだん友達もでき、分からない事はどんどん聞くようになりました。

もともとその学校に通っている日本人の人も何人かいて、友達になり色々教えてもらいました。でも絶対向こうから色々教えてくれるということではなく、自分で話しかけないと友達はできなかったと思います。最初は冷たいとも思いましたが、本当はそうではなく、そういう風に接してくれたので、私も色々学べたと思います。寮生活最後の日、寮生の寄せ書きをしたくまのぬいぐるみくれました。そこでもオーストラリアの温かさを感じられ、1ヵ月間本当にいい経験ができたと思います。

(96年3月9日から4月6日までオーストラリアのジーロン・グラマースクールへ派遣)

### 日本に来て感じたこと

大阪国際女子大学 外国人特別科目等履修生 金 春子(チン チュンツ)

昨年の9月から科目等履修生として大阪国際女子大学で1年間勉強することになりました。この数ヵ月間の体験で、テレビ、書物などで見てきたのと、実際にこの足で行き、この目で見、音、流れ、空気、匂いを身体全身で感じ、味わうのとはかなりの差があると思いました。

例えば日本に来る前は日本の町には着物を来ている人が結構いると思ったんですけど、それが珍しいことだと知りました。でも一番印象深かったこと、感心したこと、日本のよさが感じられることはサービスの質の高さです。銀行とか郵便局、デパート、商売している店の職員と店員達の親切さから、「お客さんは神様」であることがしみじみ感じられます。お客さんを困らせること、だますことはぜんぜんないばかりか、お客さんの無理な要求もできる限り満足させてくれたりします。いつも笑顔で自分の仕事に責任を持って頑張っている職員、店員様に感謝の気持ちでいっぱいです。これに対して中国ではほとんど情けないように思います。中国では銀行、企業などはほとんど国の物だから、損しても給料はいつも同じだからとお客さんに対しての親切さが足りないんじゃないかと思う。だから、特にこうした点は日本に習うべきだと思っています。

(96年9月入学、中国・遼寧師範大学からの留学生)



直言

先日、ある雑誌の広告を見たら、「女子大生興國論」という表題が目にとまり、時代の流れを痛感しました。

東京の某大学の教授が「女子大生亡国論」を発表して話題になったのは、今から三十七年前のこと。全国的に女子大生の数が急増している時でした。なぜ国が減るのか、先生の言ひ分はこう。このまま女子学生が増え続ければ、

女子大生興國時代  
読売新聞大阪本社編集委員 音田昌子

今に日本の大学は女子学生に占領される。ところが、女子学生は卒業して就職しても、たいてい四、五年で結婚して家庭に入ってしまう。それではせっかく国が投資したお金が社会に還元できず、ひいては国が減るものになると。この発言に、当時大学に在学中だった私たちは大憤慨。そんなことを言わせてなるものか。私たちは結婚しても絶対に仕事をやめないゾと、固く心に誓ったのを覚えています。今の女子大生には、そんな

肩ひじはったところがなく、ごく自然体で生きているのがいいなと思う反面、もう少し気概があってもいいかなと。高齢社会を迎え、今や女性の労働力は日本経済を支える大きな力。まさに「女子大生興國」の時代であり、その人材を育てる女子教育は今後ますます重要性を増すと思われま

古賀 敬太著  
大阪国際大学 政経学部 助教授  
『ヴァイマル自由主義の悲劇 岐路に立つ国法学者たち』 風行社(8,000円)

BOOK  
『ヴァイマル自由主義の悲劇 岐路に立つ国法学者たち』 風行社(8,000円)

ソフトボール部率いて27年 全国大会出場4回



「厳しいが信望あつい」杉浦監督

大阪国際大 杉浦進氏  
大阪国際大 杉浦進氏  
高等学校教諭

情熱を圧倒され、指導を全面的に信託」と部員

大阪府下では強豪で知られる大和田高校ソフトボール部。その監督を務めているのが教師生活34年目を迎えるベテラン、杉浦進教諭。途中6年間を除く27年間にわたって指揮をとり、これまでインターハイ、全国選抜大会に2度ずつ出場、インターハイは2度ともベスト8、また全国選抜大会では初出場ながら3位と数々の輝かしい成績を残

している。残念ながら昨夏のインターハイ予選には決勝リーグまで進みながら惜しくも敗れ、姉妹校の大阪国際滝井高校が初出場。杉浦監督は「同高校はバレーボール部やフエッティング部は全国的に強豪で知られているが、ソフトボール部も刺激されて近年メキメキ力をつけ、インターハイ出場にこぎつけた。お互い競い



3大学チームの女子バレークロス部

に強いチームでも敗れる。勝負は時の運、の側面も。試合では何が起るかわからない」と、勝負のこわさを知り抜いているからこそ自戒のことば。そんな監督を慕って、入部してくる生徒も多い。キャプテンの吉田明美さん(2年生)もその一人で、「正直いってすごく厳しい先生ですが、ソフトボールに賭ける情熱に圧倒され、その指導ぶりを全面的に信託して、みんなどんな苦しい練習にもたえて頑張っています。」

杉浦監督も今年で56歳。5年程前から体の不調でキャッチボールも困難な状態になった。しかし「ここまでできたら定年まで、いや力の続く限り監督を続けたい」と意気軒昂。グラウンドには、選手の声より一際大きく杉浦監督の掛け声が今日も響く。昭和39年 同志社大学文学部卒。同年本校へ。

3大学(国大・短大・大)合同で活動の女子バレークロス部

登録は国際大チームで 休部を救った合同化

国際大と女子大・短大が合同で活動している体育会系の女子バレークロス部が、一段とまとまりをみせてきた。バレークロスは、人気急上昇の球技である。日本へは昭和61年に伝えられた新しいスポーツで、ルールは12人(男子10人、1チーム、スティックでボールを相手ゴールにシュートして競う。平成3年に発足した国際大唯一の女子のクラブだが、女子学生の少なからず部員不足になり、休部寸前になった。そこで女子大・短大に呼びかけて一昨年4月に合同化が認められ、再出発を遂げた。学外で所属している団体、日本バレー協会も合同チームでの出場を正式に承認し、昨年もリーグ戦に参加して熱戦を演じた。ただ女子大・短大の

- 部員が参加しているもの、バレークロス協会には大阪国際大学で登録している。現在部員は国際大5人、女子大・短大13人で、練習は月曜から金曜が各大学ごと、土曜に合同で全体練習を行っている。合同チームのキャプテンを務める国際大政経学部2年次生、原口真紀さんは「和気あいあいとしたチームだが、一緒に練習や試合を重ねることで今日のチームにまとまった」と語る。関西学生4部リーグに所属し、実力はまだ不十分だが、まずは3部リーグ昇格を目指して、チーム一丸の練習に励んでいる。

資格取得者紹介  
国際大 第二種情報処理技術者試験合格者

奥田政三教育・研究基金奨学生  
女子大西オーストラリア大学教育学部第2外国語英語センター派遣留学生  
古賀みほ(コミ2)▽伊藤友実▽加藤良子(以上コミ3)▽延廣美紀(人健3)

初級システムアドミニストレータ試験合格者  
経情3 中西孝行▽松岡一孝▽同4 澤田英樹  
女子大・短大 国内旅行業務取扱主任者試験合格者  
短大国際1 桜木陽子▽佐々木直子▽中西里江▽奈波京子▽宮口依里▽同2 西村佳奈

SNUC スナック 健康クリニック  
SNUC=大阪国際女子大・短大健康づくりのためのスポーツ・栄養総合センター  
「しっかり食べて骨を丈夫に」  
前回までの話でおわかりのように、骨を強くするには運動と栄養が大切であって、若い年代から気をつける必要があります。今回は、「骨と栄養」について考えてみましょう。  
成人のカルシウムの所要量は、1日600mgです。カルシウム供給源として代表的な食品は、牛乳・乳製品です。牛乳のカルシウムは、他の食品に比べ吸収が良く手っ取り早くカルシウムがとれます。しかし牛乳のきらいな人もいますので、いろいろな食品を組合せて食べると良いでしょう。  
カルシウムの吸収作用には、たんぱく質、ビタミンD、乳糖などの他の栄養素も関係します。「いろいろな栄養素をバランスよくとる」ことが基本となります。1日3食を食べて、太陽の下で元気に運動や散歩をし、骨を丈夫にしましょう。

Caを多く含む食品(カルシウム量)		
普通牛乳 1カップ(200g)	プロセスチーズ 20g	ヨーグルト(全脂乳) 1杯(100g)
200mg	126mg	130mg
ごま(すり) 1/4杯(50g)	牛乳を「毎日飲む」人は男女共に2人に1人です。	もめん豆腐 1/2T(50g)
232mg		180mg
まいいし(干) 中粒 30g	しほび(40g)	わかめ(乾燥) 2g
420mg	60mg	20mg

# DATA 平成9年度入試結果

( )は前年度

志願者数	受験者数	合格者数	競争率
一 次 (修士)	7( 11)	6( 10)	1.2(1.1)
二 次 (修士)	10( 10)	9( 9)	1.3(1.8)
博 士 (後期)	3( 4)	3( 4)	1.0(1.0)

学部	推薦	一般	併願	競争率	
推 薦	経営情報学 一般推薦A	447( 280)	432( 276)	112( 83)	3.9(3.3)
	経営情報学 一般推薦B	205( 212)	176( 195)	53( 51)	3.3(3.8)
一 般	経営情報学 一般推薦A	287( 179)	279( 174)	98( 69)	2.8(2.5)
	経営情報学 一般推薦B	114( 113)	110( 103)	43( 43)	2.6(2.4)
併 願	経営情報学 併願	1( 1)	1( 1)	1( 1)	1.0(1.0)
	経営情報学 併願	0( 1)	0( 1)	0( 0)	0(0.0)
合 計	経営情報学 学部	1,809(2,208)	1,549(2,158)	427( 468)	3.6(4.6)
	経営情報学 学部	1,083(1,338)	1,048(1,303)	419( 432)	2.5(3.0)
一 次	経営情報学 学部	727( 857)	599( 719)	81( 101)	7.4(7.1)
	経営情報学 学部	460( 513)	377( 437)	86( 65)	4.4(6.7)
二 次	経営情報学 学部	6( 11)	6( 10)	5( 10)	1.2(1.0)
	経営情報学 学部	1( 3)	1( 3)	1( 3)	1.0(1.0)
併 願	経営情報学 学部	5( 2)	5( 1)	4( 1)	1.3(1.0)
	経営情報学 学部	1( 1)	1( 0)	1( 0)	1.0(0.0)
合 計	経営情報学 学部	191( 407)	191( 407)	127( 144)	1.5(2.8)
	経営情報学 学部	192( 225)	192( 225)	152( 105)	1.3(2.1)
合 計	経営情報学 学部	3,191(3,978)	2,959(3,767)	810( 859)	
	経営情報学 学部	2,138(2,373)	2,008(2,246)	800( 717)	

学部	推薦	一般	併願	競争率	
推 薦	コミュニケーション学科	8( 13)	8( 13)	6( 6)	1.3(2.2)
	人間健康科学学科	4( 7)	4( 7)	2( 4)	2.0(1.8)
一 般	コミュニケーション学科	140( 216)	140( 211)	108( 53)	1.3(4.0)
	人間健康科学学科	140( 156)	164( 154)	58+10(15)	2.8(10.3)
併 願	コミュニケーション学科	5( -)	5( -)	4( -)	1.3( -)
	人間健康科学学科	4( -)	4( -)	2( -)	2.0( -)
合 計	コミュニケーション学科	273( 244)	266( 242)	133( 125)	2.0(1.9)
	人間健康科学学科	137( -)	134( -)	34+85( -)	1.0( -)
I 期	コミュニケーション学科	199( 159)	192( 157)	176( 46)	1.1(3.4)
	人間健康科学学科	158( -)	150( -)	118( -)	1.3( -)
II 期	コミュニケーション学科	75( 71)	69( 66)	30( 15)	2.3(4.4)
	人間健康科学学科	104( -)	93( -)	91( -)	1.0( -)
合 計	コミュニケーション学科	496( 544)	483( 532)	277( 199)	1.7(2.7)
	人間健康科学学科	387( -)	373( -)	452( -)	1.0( -)
合 計	コミュニケーション学科	423( 379)	410( 372)	241+10( 74)	1.7(5.0)
	人間健康科学学科	454( -)	439( -)	178( -)	2.5( -)

学部	推薦	一般	併願	競争率	
推 薦	家政学 国際文化学科	8( 2)	8( 2)	6( 2)	1.3(1.0)
	家政学 国際文化学科	17( 13)	17( 13)	14( 10)	1.2(1.3)
一 般	家政学 国際文化学科	384( 807)	383( 718)	274+18(274)	1.7(2.6)
	家政学 国際文化学科	490( 944)	490( 896)	219( 179)	2.2(5.0)
合 計	家政学 国際文化学科	526( 920)	519( 849)	412( 325)	1.3(2.6)
	家政学 国際文化学科	235( 482)	223( 475)	119+48(298)	1.9(2.0)
合 計	家政学 国際文化学科	358( 478)	343( 469)	49( 105)	7.0(4.5)
	家政学 国際文化学科	266( 469)	245( 461)	231+14(312)	1.1(1.5)
合 計	家政学 国際文化学科	627(1,291)	614(1,195)	365+81(446)	1.8(2.3)
	家政学 国際文化学科	865(1,435)	850(1,378)	282( 294)	3.0(4.7)
合 計	家政学 国際文化学科	807(1,394)	779(1,315)	654+14(642)	1.2(2.0)

学部	推薦	一般	併願	競争率	
推 薦	国際文化学科	10( -)	9( -)	41( -)	39( -)
	国際文化学科	35( -)	33( -)	105( -)	102( -)
一 次	国際文化学科	126( 143)	127( 139)	482( 542)	485( 557)
	国際文化学科	4( 8)	4( 4)	1( -)	1( -)
二 次	国際文化学科	4( -)	4( -)	-	-
	国際文化学科	4( -)	4( -)	-	-
合 計	国際文化学科	179( -)	177( -)	629( -)	627( -)

学部	推薦	一般	併願	競争率	
推 薦	英語	104( 142)	91( 96)	389( 347)	297( 230)
	英語	152( 150)	163( 191)	318( 365)	406( 480)
合 計	英語	256( 292)	254( 287)	707( 712)	703( 710)

学部	推薦	一般	併願	競争率	
推 薦	英語	69(63)	60(58)		
	英語	32(23)	19(21)		
合 計	英語	101(86)	79(79)		

☆国際大、女子大・短大の指定校推薦は除く

## 企業の採用姿勢に変化

企業側と大学間で結ぶ就職協定が廃止された。就職戦線の前倒しや長期化は避けられないとの声ははやくも出て、「超水河期」状況に比べて薄日はさしたものの、今後も厳しさは続く。国際大、女子大・短大の両就職室長にまずは平成8年度の就職戦線を振り返ってもらった。

今年度就職内定率はまだ発表する時期ではないが、今年1月中旬現在で、昨年同期よりも若干上回っている。3月25日卒業式当日調査する最終結果では、ほぼ100%となる見通しである(昨年度は97%)。



企業の説明を熱心に聞く学生ら(1月17日、女子大・短大)

今年度は重複内定がかなり目立ち、「どちらに決めたらよいか」とか「どのように辞退すればよいか」といった相談が、例年に比べて多かった。

業種別内定率は、金融、製造が引続き減少し、卸、小売が増加したが、今後この傾向は一層顕著となろう。

他方、企業の採用姿勢にも微妙な変化が見えた。

1. 採用活動の開始時期が早まる一方、終了時期も遅くなって、シーズなが長期化する傾向にある。(追加募集も多かった)
2. 面接前選考で、常識テストやSPIだけでなく、論文やグループ討論など多面的な方法を導入する企業が増えている。
3. 中途採用と定時採用を併用して業務の平準化に努める企業も未だ不足で、追加採用を断念する企業が増えてきた。

その結果、すべり止め内定を

獲得しても満足せず、上位志望を目指して粘り強く活動した学生が好結果を得た。

さて、来年度の就職戦線の見通しであるが、

A. 就職協定廃止の影響を考えると、国立大学と優良企業の特に技術系採用で指摘されていた「青田買い」が大手を振ってまかり通ることになるが、われわれ文系の私立大学には利害相半ばすると見る。来年度卒業生に対するガイダンスは予定通り行っているし、学生の動きを今から早めることも不可能である。企業側も会社資料の印刷を繰り上げること位はできても、定期異動、入社式、新入社員研修、春闘、ボーナス交渉、株主総会と繰り合わせて、人事部がギリギリのところまで組んでいる

## 様変わりか? 就職意識

### 女子大・短大

年度当初「今年度の就職戦線は、超水河期といわれた平成7年度より、やや明るさがみえてきた」と、新聞等はしきりに報道しました。確かに、男子学生については相応の手応えがあったようです。しかし女子学生に

の増はあったものの、内定率については(まだ最終調査は実施していませんが)昨年とほぼ同率に終わりそうです。相変わらずの厳しい戦線でした。

今年度の主な特徴は、内定数が前半に偏ったことでしょうか。昨年は4月から翌年3月にかけて平均して増えていきましたが、今年度は9月までは前年に倍する

採用日程が、簡単に動かせるとは思えない。

むしろ「飛び出した企業さん、どうぞフライングして下さい。うちはその後で(夏休み頃)マイペースでやりますから」と言っている企業もある。

B. 就職の難易は、日本経済が低迷から脱却しつつあるとしても、メーカー系の海外脱出や大企業に見られる業務外注化によってゆるアウトソーシングによって全般的採用意欲が減退していることから、ドラマティックな好転は望めないと思う。学生も大学も、今年度同様に厳しいと想定して準備にあたるのが賢明である。

(大阪国際大学就職室長 田中祥夫)

## 女子大、新設学科で明暗 厳しい現実と直面の短大

### 一般入試をふりかえって

平成9年2月3日から2月6日にかけて、大学、短期大学の一般入選考試験が行われた。大

率で増えたものの、10月以降は停滞し微増にとどまったことです。

理由の一つは、好調だった男子の早期決定が、企業的女子求人早めたことにあると思われる。また、それ以上に女子学生の就職に対する意識の変化が大きく影響したようです。

1月末実施した調査によりまず、①応募した企業数が平均して昨年より少ない、②就職を夏休み前後で諦めた学生が多い、③進学、アルバイト、フリーターの希望者が急増した、等々の現象がみられます。就職難をまのあたりにして、従来あった就職への「こだわり」意識が次第に薄れてきているといえるかもしれません。ある種の「しらけ現象」とみるのはいいすぎでしょうか。

就職協定廃止で予想される就職戦線の長期化に对应しながら、この問題をどう解決していくのか、今後の私たちに課された大きなテーマといえます。

(大阪国際女子大・短大 就職室長 横山恒雄)

## まさに冬の時代到来

### 専願者獲得難しくなった私学女子高

中学・小学校の児童・生徒数の激減、低成長化のもと公立指向が高まり、特に公立高と同じ学力レベルの私学女子高にとっては、専願者を獲得することが極めて難しい状況となった。加えて中学サイドでの成績の輪切

りによる進路指導によって進学の先が格付けされており、同ランクの私学女子高同士のサバイバルが顕著化された年でもあった。

滝井、大和田両高でも危機意識を持って募集活動に臨んだが、

【大和田中学校】

3学級90名の募集を目標に地道な募集活動を重ねた結果、1次入試69名、2次入試32名、計101名の応募者を得ることが出来た。入学手続き者は1次58名、2次17名で計75名、昨年比5名増の新入生を獲得できたが、悲願の3学級編成は来年度の課題となった。

(理事・大阪国際滝井高校校長 奥田三郎)

科では、定員枠(一般一期110名)をわずかに上回る結果になり、スポーツ行動学科は定員の(一般一期40名)4倍弱の志願者となった。新学科については1月21日に行われた推薦入試を、受験者が一般入試の意味合いで出願してきた模様で、その分一般入選考での志願者が伸び悩んだ。

また、短期大学においては、英語科募集停止にともない、3学科(家政科、幼児教育科、国際文化学科)で入試が行われた。志願者総数は対前年比60%弱となり、短期大学がおかれている厳しい現実と直面する結果となった。しかし、資格取得等から家政科(栄養士コース)、幼児教育科(保育、音楽、体育)ではいずれも高倍率で人気の高さがうかがえた。「女性優位」、元年。新たなスタートを切った一般入試だった。

(大阪国際女子大・短大 入試室長 武内一雅)

【大和田高校】

昨年270名の募集定員のところ341名の新生が確保できた。これは英数コースを中心とした本校の教育活動と実績が社会から評価された証であると考え、今年も募集目標を270名とし、募集活動を展開した。専願223名と併設中学33名の計256名、併願707名の受験生を獲得でき、目標の270名の新生を確保できる結果となった。

女子大、短大が初の保護者懇談会を開く

女子大・短大の「保護者懇談会」が12月14日、本学キャンパスで開かれ約1300人の保護者が参加された。

この懇談会は実行委員会(委員長、黒田勝明教務部長)が秋口から準備を進め、今回が初の試み。多彩な催しを通じて大学への意見や要望を聞き、大学運営に反映させてより社会に関か

れた大学づくりを目指す一環。内容は▽キャンパス公開▽教育懇談会▽懇親会。キャンパス公開ではインターネットを体験してもらったほか、女子大の守誠教授が「世界はどう動くか」をテーマに特別講演を行った。

教育懇談会は三木正伸学長▽堀江淳之助学長補佐▽黒田勝明教務部長▽徳原康彦学生部長▽横山恒雄就職室長▽女子大の高田英樹教授ら6人が、本学の運営将来構想や教育内容の説明を行っ

た。保護者からは「ぜひこの様な機会を再度、設けて欲しい」などの意見も飛び出し、熱心な様子が伺えた。このあと学科ごとの懇談会が、それぞれ会場をわけ実施された。また随時個人懇談も実施され、希望者は担任教員と意見交換を行った。

夕方からはブラウジングルームを会場に、教職員と保護者、また保護者同士のコミュニケーションをはかる懇談会が行われ互いに親睦を深め交流しあった。

# 大阪国際学園 CALENDAR

## 大阪国際大学

大学院 経営情報学部・政経学部 留学生別科

- 4. 2 入学宣誓式、英語能力テスト
- 4. 3 新入生・在学生オリエンテーション(～7)
- 4. 8 新入生履修オリエンテーション(経情)
- 4. 9 新入生履修オリエンテーション(政経)
- 4. 10 前期授業開始
- 4. 24 新入生フレッシュマンキャンプ(～25)
- 7. 11 前期授業終了
- 7. 14 前期補講(～16)
- 7. 17 前期試験(～28)

## 大阪国際女子大学

人間科学部 コミュニケーション学科・スポーツ行動学科  
国際コミュニケーション学科・人間健康科学科

## 大阪国際女子短期大学

家政科・英語科・幼児教育科・国際文化学科

- 4. 2 新入生登校日
- 4. 3 入学宣誓式
- 4. 8 新入生学外オリエンテーション(～9)
- 4. 11 前期開講
- 7. 17 前期終講
- 7. 18 集中講義・補講(～23)
- 7. 24 前期試験(～31)

## 大阪国際滝井高等学校

- 4. 7 新入生登校
- 4. 8 入学式、始業式
- 4. 9 新入生オリエンテーション(～10)
- 5. 1 3年進路研修(～2)
- 5. 17 3年進学保護者会
- 5. 21 中間考査(～26)
- 5. 26 豪トウラック・カレッジと生徒相互派遣
- 5. 27 1、2年遠足
- 6. 1 撫子会総会
- 6. 7 1、2年保護者会
- 6. 12 学校祭(文化)(～13)
- 6. 14 学校祭(体育)
- 7. 3 期末考査(～8)
- 7. 17 カナダ海外研修(～8/7)
- 7. 19 終業式

## 大阪国際大和田高等学校 大阪国際大和田中学校

- 4. 7 入学式予行・クラブ紹介
- 4. 8 入学式、始業式
- 4. 9 新入生オリエンテーション(～10)
- 4. 24 カナダ研修(～5/12)(高校)
- 4. 26 3年進路講演会(高校)
- 5. 2 遠足
- 5. 21 中間考査(～24)
- 5. 26 オーストラリアから生徒来校(～6/7)
- 5. 31 体育祭
- 6. 28 2年進路講演会(高校)
- 7. 1 期末考査(～5)(高校2年)
- 7. 7 期末考査(～11)(高校1、3年)
- 7. 9 期末考査(～11)(中学)
- 7. 10 修学旅行(～15)(高校2年)
- 7. 19 終業式
- 7. 22 林間学舎(～24)(中学)
- 8. 1 学習合宿(～4)(中学)
- 8. 1 カナダ語学研修(～8/22)(高校)
- 8. 1 イギリス語学研修(～8/22)(高校)

## 大阪国際大和田幼稚園

- 4. 7 入園式
- 4. 8 始業式
- 5. 14 園外保育
- 5. 25 父親参観日
- 7. 5 音楽会
- 7. 19 終業式
- 7. 22 夏季保育(～25)
- 8. 27 夏季保育(～30)

▽曾谷俊雄(政経4)、小林和哉(政経3)、林昌誉(経情2)(全日本大学選抜台湾親善軟式野球大会の代表選手に選抜)

▽中西正邦(経情4)、栗田剛、吉田昭成(以上政経4)(第6回関西学生サッカー春季リーグ3部ベストイレブンに選抜、吉田は得点王、アシスト王も受賞)

▽高島雅秀(経情3)(第一回全日本高校・大学生書道展「大賞受賞」)

▽澤田英樹(経情4)、松岡一孝、中西孝行(以上経情3)(初級システムアドミニストレーター試験合格)

▽重野将、鳥本一徳、浦井伸介(以上経情4)、生越光春、松尾直美(以上政経3)(第42回阪急西宮ボウル西日本2、3部学生オールスターに選抜)

### 滝井高校バレーボール部は、2月15日に行われた春の高校バレー大会で準優勝、6年連続9度目の全国大会出場を決めた。全国大会は3月20日から7日間、東京・国立代々木競技場で開催。

## バレーは6年連続9度目

### フェンシング、2年連続5度目

平成4年と6年の大会では全国制覇を果たしたが、昨年は2回戦敗退。今回は力を合わせベスト4を目指した。

一方、1月19日に行われた近畿高等学校フェンシング新人大会兼全国高等学校選抜フェンシング大会近畿予選(和歌山東高)で、滝井高校フェンシング部も団体戦で見事優勝、5回目の全国大会出場を決めた。



出場登録選手は▽宮村美紀さん▽道端亜由美さん▽石川寛子さん▽井路端綾さん(以上2年)の4人。

全国大会は3月27、28日、栃木県の栃木市総合体育館で開かれた。

### 両クラブ、守口市を表敬訪問

両クラブは3月4日、全国選抜大会を前に守口市役所を表敬訪問し、吉田豊彦助役から激励

### クラブ活動

アメリカンフットボール部  
11月 西日本学生アメリカンフットボールリーグ3部Dブロック優勝

男子ラクロス部  
8/21、11/17 第7回関西学生ラクロスリーグ戦1部リーグ

大和田高ソフトテニス部  
8月 12/17、19 「第15回記念」近畿私立高等学校選抜大会 決勝トーナメント(1部)ベスト

を受けた写真、右から道端亜由美、井路端綾、酒井千佳の各選手。

訪問したのは▽福井昭典副校長、バレーボール部の▽才崎哲次監督▽キャプテンの酒井千佳選手(2年)、フェンシング部の▽宮下節子監督▽キャプテンの井路端綾選手▽道端亜由美選手(2年)の6人。

8位(11/23の入替戦で大阪国際大に敗れ2部降格)

出場 大島秀子、空久保翠(以上2)ベア

国際大模範行為者表彰(敬称略)(2月19日)

▽桃谷千加(経情4)(第二種情報処理技術者試験合格)

▽重野将、鳥本一徳、浦井伸介(以上経情4)、生越光春、松尾直美(以上政経3)(第42回阪急西宮ボウル西日本2、3部学生オールスターに選抜)

滝井高バレーボール部  
12/17、19 「第15回記念」近畿私立高等学校選抜大会 決勝トーナメント(1部)ベスト

1/18、19 近畿インドア大会出場 大島秀子、空久保翠(以上2)ベア



大阪国際大学(経営情報学部'92年卒)  
コマツ物流株式会社  
総務課 高橋剛

## 就職活動する後輩へのアドバイス

私は入社以来現在の部署に配属になり、5年近く採用を担当しています。5年もこのような仕事をしていると、ある程度人を見る目は出来るようになってきました。最近では初めて会った人でも短時間で理解することが出来るようになりました。そこで、就職活動をされている方々に、少しだけ話をさせて戴きたいと思います。

水河期といわれた厳しい就職難も徐々に回復し、皆さんからすれば就職するには良い環境になってきたと思います。しかし、世の中は就職協定が廃止され、就職活動の長期化が懸念されています。又、通年採用を実施する企業が増加する等、採用活動も多様化してきました。

企業は「良い人材」を採用するために必死です。通年採用も企業にとっては大変手数のかかることなのですが、「必要な時に、良い人材を確保」する為にはこのような手段を取らざるを得ません。

しかし「企業が採用に必死になっている」からといって、決して就職活動が楽になったわけではありません。逆に企業は人を見る目が厳しくなりました。パブルの頃のように頭数さえそろえば良いと考えている企業は、皆無といって良いでしょう。

そのような中で企業の求める「良い人材」とは、「人を引きつける魅力を持っている人」だと思います。はっきり言うと、就職マニュアル等に頼って活動している人は全く魅力を感じません。面接時にそのマニュアルに従って回答する人が多々いるのですが、そのような人は、ほとんど印象に残りません。

個々人が持っている個性を消してしまうことは大変もったいないことです。故に、個人的な意見ですが、皆さんの持っている「個性・魅力」を面接時に上手く発揮し、面接官にインパクトを与えるよう努力して下さい。

## OB・OGレポート



帝国女子大学 現大阪国際大 家政学部物理学科4年卒  
Mazi Academy 代表  
吉野喜美子

## 出会い、縁、チャンスそして継続

私はOL生活を経て、出産の為退職。三人目の子供が産まれたと同時に会社をこし、徐々に基盤を作り始めました。今年で6年目。MAZI(マジ)アカデミーと言い、MAZI(マジ)はギリシャ語で「一緒に」と言う意味で、一人では何も出来ないからより多くの方と知り合い、そして皆さんと一緒に頑張っていく！と言う願いを込めてつけました。現在では、プライダルセミナー講師として一流企業やホテルでセミナー活動をしています。その他には、プライダルプロデュースを行ったり、ファッションショーのプロデュースも手掛けております。

私がこのように仕事出来るのは、多くの方々のお支えのおかげですが、私には、胸を張って自慢出来る事があります。それは、自分で見つけ、開拓して人脈を広げ、ゼロからの出発で大活躍する女性たちの知人を多く持っていることです。人は待っていても、向こうから来てくれません。こっちから声をかけて初めて、その人と知り合う事が出来るのです。一般的にはこれを「縁」と言う言葉で終わってしましますが、人と出会って縁になり、そしてチャンスがやってくるのです。チャンスをものにするのも自分自身で、より大切なのは毎日の努力と継続する事です。

後輩の皆さんも、より多くの人達と出会って下さい。出会う機会がないとあきらめている人は、自分で探そうとしないだけ。新聞をちょっとめくってよく読んでご覧下さい。集まりの呼びかけがあったり講演会やセミナーなどおもしろい記事が色々ついています。私も、これからはもっと多くの人と出会い縁を大切に、チャンスをつかみ継続し続けて行こうと思っています。

## ヘッドラインニュース

- 11/14 女子大・短大 読売新聞夕刊に、来年度入試から実施の「入学金後納制度」の記事 掲載
- 11/16 国際大・女子大・短大 第4回合同体育祭(女子大・短大グラウンド)
- 11/19 学園 永年勤続表彰式(5人が表彰)
- 11/26 女子大・短大 課外講座、講師にMAZIアカデミーウーマンライフアドバイザー吉野喜美子さんを招く(テーマ「素敵なお母さんになるために」)
- 11/26 学園 第10回奥田メモリアルフェスティバル(世良 譲ピアノトリオ&キャロル山崎コンサート)
- 11/27 大和田高 エイズ講習会、講師に守口保健所所長山本信氏を招く(テーマ「エイズを正しく知ろう」)
- 11/28 女子大・短大 第6回人間健康科学科特別課外講座、講師に関西医科大学 吉田宗弘助教授を招く(テーマ「運動とミネラル」)
- 11/28 女子大・短大 第2回生涯健康講演会「私のランニングライフ」と題してスポーツライター・増田明美さんが講演(健康づくりのためのスポーツ・栄養総合センター主催)
- 11月 国際大 軟式野球部員3名が出場した全日本大学選抜日華親善軟式野球大会で、日本選抜は4試合を行い全勝
- 12/12 短大 第5回OICW幼児教育科音楽コース演奏会(ルミエールホール)
- 12/14 女子大・短大 課外講座、講師に「コア神戸未来への夢基金」代表の目良 誠氏を招く(テーマ「緊急援助とボランティア」)
- 12/17 女子大・短大 学内活性化のための講演会、講師に住友信託銀行株式会社 櫻井 修氏を招く(テーマ「今、大学教育に求めることー特に女子教育」)
- 12/17 大和田中・高 同和教育研修(映画「学校II」を鑑賞)
- 12/21 女子大・短大 合唱部が、医療法人弘道会守口老人保健施設ラガール(大久保町)のクリスマス会に招待された
- 12/24 学園 永年勤続表彰式(30年以上、28人が表彰)
- 12/25 国際大 軽音楽部、クリスマスライブ開催
- 平成9年
- 1/10 短大 幼児教育科「施設実習オリエンテーション」実施(保育コース1回生が対象)
- 1/13 女子大・短大 人権啓発講演会、講師に世界人権問題研究センター嘱託研究員 米田眞澄氏を招く(テーマ「女性と人権ー女性と就職差別について」)
- 1/13 女子大・短大 家政科 課外講座、講師は橋本義郎助教授(テーマ「スウェーデンの地域福祉サービスと生活」)
- 1/14 女子大・短大 国際交流課が、Bob&Joy Tremain夫妻との懇談 実施(オーストラリア・ファームステイ研修でお世話になっている夫妻が来日)
- 1/14 女子大・短大 学年末海外研修結団式
- 1/17 女子大・短大 OGショップ「業界別業務内容研究会」開催(イベントホール)
- 1/18 短大 幼児教育科音楽コース学生による発表会「土曜ステージ〜ポップスの花束〜」が開催(MOVE21エントランスホール)
- 1/18 学園 創立記念日
- 1/25 国際大 枚方市役所社会教育課主催の「菅原公民館開館記念事業」へ軽音楽部、フォークソング部、吹奏楽部が参加
- 1/28 大和田高 『紙上書道書き初め大阪展(読売新聞大阪本社主催)』で、堤 恵理さん(2年)が三席入賞
- 1/29 学園 最高顧問の原田 恵氏(元学園理事、元運輸相、元郵政相)が午後、肺炎のためご逝去
- 1月 国際大 1/15のFMひらかた(周波数77.9MHz)開局に先がけ、奥田吾朗理事長が1/14の開局祝賀会に出席
- 2/1 国際大 平成8年度前期入学生留學生別科生 修了式・単位認定書授与式及び修了パーティー開催(修了者2人、単位認定書受領者2人)
- 2/7 短大 国際文化学科、平成9年度セミナーIIの説明会(奥田メモリアルホール)
- 2/8 短大 幼児教育科音楽コース 第11回卒業演奏会(奥田メモリアルホール)
- 2/9 滝井高 吹奏楽部、「守口市音楽コンサート第7回ハロー・フェスティバル」に出演(さつきホールもりぐち)
- 2/14 滝井高 1、2年生、マラソン大会
- 2/14、20 女子大 平成8年度人間科学部「卒業研究」発表会
- 2/24
- ~3/1 女子大・短大 学生会主催の平成8年度スキー講習会、学生31人が参加
- 2月 大和田高 絵画教室「馬場美術スクール」所属の川北寛子さん(2年生)が、東京都美術館で開かれた「第42回全日本学生美術展」(全日本学生美術会主催)で、特選を受賞



### 混沌の世に送り出すに当って

#### 大阪国際大学 川又良也学長

本来ならば諸君の門出を祝福して、これからの社会の在り方につき明確な見取図を示し、生き方に資する助言を述べざるべきものと思う。しかし、今の世はかつての価値基準を根本的に見直し、政治的、経済的、社会的制度の改革の必要性が主張され、現実的に極めて混沌とした時代であり、遺憾ながら諸君の進むべき道は平坦ではない。そのような道に諸君を旅立たせることに憂慮の思いを禁じえないとともに、良き助言を与え

得ないことに忤ねたるものがある。19世紀末、市民社会の価値体系が衰弱して、退廃的、懐疑的、冷笑的な思潮が広がった。その頃を指してフランスの小説家プルーストは、世紀末と呼んだ。20世紀の終末を迎え、いままた世紀

不安の念を抱かせる一因となつてゐる。百年前に比べわれれば、一見して幸せな生活を送つてゐるように見えるが、その生活は化石燃料を基にしたエネルギーによつて支えられ、その結果がいろいろな形で生態系に悪影響を及ぼし、環境を破壊している。したがつてこうした経済活動の在り方、制度そのものを基本的に変革する必要があるといわれる。

末現象がいわれるほど社会は混沌とし、これを良き方向へ立て直す有効な手段が見当たらない。1977年、ロシアに社会主義国家が誕生したけれども、70年の歴史をたどつただけで破局に終つた。その歴史で得られたフランスよりも失つたドイツの方が多量といわざるを得ない。ポスト冷戦の時代になり、東西の対立こそなくなつたが、南北の格差は広がる一方で、西側諸国のなかにも格差がある。また、科学技術の発達もわれわれの将来に対する

### 卒業おめでとう(学長あいさつ)



### 「女性の時代」故の心構えとは

#### 大阪国際女子大・短大 三木正伸学長

4年間にわたり本学では、GLOBAL MINDの教育方針のもと専門性の付与や広く人間形成に係わる教育を行い、実社会で即戦力として活躍される能力を身に付けられたと信じる。

ただ、就職状況は思わしくなく、とりわけ女子学生には厳しい。単に構造不況だけでなく、企業の「女性の受入れ」が消極的であることも一因。

一方、企業構造が変革、製造業から人間の健康にかかるとスポートや観光、旅行、文化などの

産業が台頭してきた。今後、男性より女性が優位になる分野が増えるに違いない。ただし、その時代が到来しさえすれば、女性社会はラッキーになるわけではなく、女性が社会で活躍するには、より厳しく強い責任感を養つてお

生活は嬉しいことではない。しかし、私を必要としてくれているのだというのではないかと、逆に私の質問を不思議がった。男性にとつて、この様なことはごく当り前のこと。日本女性でも、現トルコ大使の遠山敦子さんのように御主人と離れ、外国などで業務に赴いている方々もおられる。しかし、日本の風潮の中で女性は、「短期就業的意識」や「就職の機会均等に対する権利主張」が主流の感も。社会に対する甘えは許されず、今以上に社会的責任感を強く持つ必要がある。

「女性の時代到来」にそなえ心構えを新たに、日本社会の担い手、また世界にはばたく価値ある女性として活躍されることを願つて祝福とします。

3月17日の女子大卒業式学長祝辞要旨

### 就職活動の奮戦ぶりを小説化(国際大卒業生)

#### ユーモアとペーソスに描き話題呼ぶ



24年ぶりの就職協定廃止で、はやくも就職戦線の様変わりがいわれるなか、今春大阪国際大学(経営情報学部)を卒業した北野見市さん(写真)が自らの8カ月に及ぶ就職活動の奮闘ぶりを小説化、「学生が企業と出会うとき」(B5判37頁)の冊子として出版。一流流大学生の就職物語と副題にあるように、伝統校の学生でない主人公が厳しい現実に直面して何度も挫折し、そうになりながら、強い信念で克服したさまが、ユーモアとペーソスを織り混ぜた軽妙なタッチで綴られ、学内で話題を呼ぶとともに就職室では「後輩に向けて生々しいメッセージ」と早速就職指導に生かすことになっている。

### 後輩向け生々しいメッセージ

小説では、主人公・木田が友人に刺激されて3年次生の11月から就職活動を開始し、翌年7月に決定するまでのことを、友人とのやりとりを中心に展開して12章にまとめた。企業名などは仮名にし、状況は部組み替えてあるものの内容は、実際に基づいて記され、主人公は北野さんの分身。主人公は北野さんの分身。企業の対応ぶりや主人公の気持ちの移り変わりがリアルに読者に伝わってくるほか、主人公の自己分析も冷静でなかなか鋭い。



友人とやりとりした電子メールをもとに小説化したため、東京出身ということもあり、結局東京の会社に決めた北野さんはあがきで「自分で流れを作るような人生を送りたい」との信念から、「挫折せずに」並みの学生以上に頑張った。(就職活動は)自分との戦いになるだろうと思うが、実社会における勝負の始まりだから、引かず攻め続けて欲しい」と後輩にアドバイス。発行元は、北野さんが卒業した勉強サークル・相葉塾。相葉塾は「学生が就職を促すとともに、教職員が一体となつて層彼

らを支援して欲しい」という呼びかけの意味で冊子にして配布。また、就職室では、厳しさを実感してない現3年次生もいることから、急ぎで増刷してガイダンスで配布した。

### FMひらかた 開局

枚方市域を対象にしたコミュニティFM放送「FMひらかた」が1月15日に開局した。「FMひらかた」は昨年6月に会社設立、コミュニティFM放送局として府内で4番目にも出資して事業に参画している。周波数は77.9MHz。本学園も出資して参画している。FMひらかたが開局したことにより、大阪国際大の情報発信に期待がかかる。

学園では「FMもりぐち」にも参画、女子大・短大、高校情報市民向け周知等に活用している。

### 盛況だった人間フォーラム

#### 今後も継続予定

大阪国際女子大学・短期大学と読売新聞社が共催して昨年12月20日、よみうり人間フォーラム「男女・競存」の時代」一向かい風を追い風に大阪市中央区MIDシアターで開催。平成9年春からの開設に向けて申請していた女子大の新学科▽国際コミュニケーション学科▽スポーツ行動学科が前日の19日に認可されたのを契機に、本学の教育の姿勢を広く社会に訴えるフォーラムで、好評だったことから、今後同フォーラムを定期的に開く予定。

### 「男女“競存”の時代」(女子大・短大)



▲ 忌憚のない意見が飛び交った初のフォーラム

2学科の新設で女子大人間科

「男女がそれぞれの優位性を発揮する男女共生社会の到来を見据え、自ら新しい分野を開拓

できる真に自立した人材の育成」を展開できる態勢が整った。このことを社会にアピールする意味で、

読売新聞社の協力を得て初めて催した。聴衆約400人。まずはじめにアグネス・チャンさんの特別講演。歌手としてデビューしたあと日本、カナダの大学を卒業し、アメリカの大学で教育学博士号を取り、講演や執筆活動など知性派タレントで知られるアグネスさんは、男女問題を考えさせられた4つの自らの体験をもとに「男女問題は国際化と同様に、共に生きる」ことが原点。男女が互いに理解し合うことが大切だ」と強調した。アグネスさんの熱い訴えに、会場は大いに盛りあがった。

次いでパネリストカサシヨシ。パネリストは三木正伸女子大・短大学長のほか▽株式会社アダム代表取締役社長・中田幸子さん▽NHK大阪放送局チーフディレクター(当時)・瀬地山清子さんにアグネスさんも加わり、コ

本紙に記載の学年、肩書き等は全て'96年度のもので、ご了承ください。